

生涯学習かわら版

北信地区活動だより

～「人・つながり・地域」づくりを通じたウェルビーイングの実現～

令和5年8月21日

北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 菅原 勇介

北信教育事務所の生涯学習課では「社会教育」「スポーツ振興」「社会人権教育」を推進しています。今回はPTA指導者研修会（義務教育）の様子を紹介します。

PTA指導者研修会（義務教育）をオンラインで開催しました

7月29日（土）にオンラインでPTA指導者研修会が行われました。今年度はPTA役員のみなさんがより参加しやすくなるようにオンラインでの実施としました。当日はおよそ90名の方が参加をしました。

まず、研修Ⅰとして、「子どものSOSの受け止め方」について長野県健康福祉部 保健・疾病対策課自殺対策推進担当 嶋田智幸さんの話を聞きました。続けて研修Ⅱとして、「地域とともにある学校をめざしたPTAの組織 ～子どもも大人も学び合い、地域が元気になるPTA～」と題して、信州型CSアドバイザーの伴美佐子さんによる講演が行われました。



好ましい対応

| | | |
|---|------------------------------------|-----------------------------|
| じっくりと相手の話を聴く 大変だったね あっちの部屋で話そうか | 相手のペースに合わせる ゆっくり話しているよ | 自傷や自殺企図をとがめない 何か辛いことあった？ |
| 相手の気持ちに焦点を合わせ、共感し、受け入れる 追い詰められた気がするよね どうしたらよいか分からないよね | 時には静かに待つことも 心配しているから、いつでも声を掛けてね | |

講師の伴さんはPTA役員としての経験、地域コーディネーターとしての経験をもとにコミュニティとスクールとPTAがどのように関わり、元気な地域をつくるのか講演しました。

図：嶋田智幸さんの発表資料より 嶋田さんは悩んでいる人と関わるときに、どのように関わるができるのか、具体的に示しました。

○ 参加者の声【伴さんの講演から学んだこと】

- ・伴さんが関わっている学校の話に感動しました。小さなことから繋がりを持っていけば社会もよい方向へいけるのではないかと希望が持てました。
- ・地域や学校、保護者が一緒になり子どもたちと関わり、その中で楽しく学び続けたり、困った時には知恵を寄せ合い皆で解決したりしていくという大人の背中を子どもたちに見せていくことがとても大切なことだと感じました。
- ・「楽しくなくちゃ始まらない。」自分もそう感じました。講演をお聴きしながら、スライドを見せていただいた時、皆さんが、とても楽しそうにやっているのが、印象的でした。
- ・大人が楽しく学ぶ姿は、どんな言葉より子どもの学ぶ意欲を高めることにつながることが分かりました。

○ 参加者の声【嶋田さんの講演から学んだこと】

- ・長野県の自殺者数の多さに驚きました。このままではいけないと、誰もが思うと思いますが、今の社会の中で、誰が自殺当事者になってもおかしくないとも思います。今日のお話にあった受容的な姿勢の大切さを痛感しました。
- ・自分が言いそうな一言はすべてNGワードでショックでした。今後活用していけたらと思いました。
- ・生きづらい社会の中で、子ども時代を生きている子ども達に、生きていていいんだよと伝えたいです。
- ・何かあった時に子どもが相談できる母でいたいと思いました。子どもに共感し話を聞いてあげることが大切だと改めて感じました。
- ・子どものSOSを見逃さないようにしたいです。

コミュニティスクールの研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡してください。ぜひ視察にも行かせてください。

■■お問い合わせ先■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1 担当：菅原勇介
Tel:026-234-9552 E-mail: hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp

